

学校関係評価委員会のコメントに対する検討結果

令和2年度学校関係評価（自己評価）に対する学校関係評価委員会のコメントを受け、当センターとして検討した結果、今年度は以下について重点的に取り組んでいく。

1. 新型コロナウイルス感染防止対策のため、オンラインによる職員研修の実施やオンライン授業実施に向けた準備を進めており、年内には全利用者が実施できるような体制を整える。

自宅にWi-Fi環境が無い利用者もいることから、すでにセンターでモバイルルーターを購入し、まずは受験学年の利用者個々の機器との接続設定及び模擬接続による確認も終わっている。

この整備により、利用者自身による特別な設定などの必要は無く、オンライン授業が開始できる環境が整った。

また、他の利用者に対しても、担当者による説明と模擬実施などを進め、年内には全ての準備を終了する予定である。

2. あはき師国家試験合格率の維持・向上は、国立障害者リハビリテーションセンター第3期中期目標の一つであり、令和3年度も引き続き運営方針及び組織目標にしたがい、利用者の学力と実技力の向上に努めている。

具体的には、今年度は、新型コロナウイルスの影響により、昨年度実施できなかった長期休業期間中の支援を夏季休業期間より実施し、座学だけでなく実技の復習も支援内容に加え、実技力の向上を図っている。

また、受験対策も同時に行い、対象者を受験学年だけでなく2年生以上とし、早期の意識醸成に取り組んでいる。

さらに、9月以降は本格的な受験対策を実施する。その際、受験生に寄り添いつつ、個別支援等をまじえ現役受験生全員の国家試験合格を目指す。

3. パソコン等の利活用による業務の効率化は、一部の端末に接続の不具合が生じており、昨年度に引き続き、今年度も根本原因の特定には至っていない。

そのため、通信速度を100MBから1GBに変更するなど、現時点で当センターとしてできる改善は実施した。

また、新たな統合ネットワークへの更新に向けた作業も組織的に進んでおり、今後とも業務の効率化に向けた改善を実施していく。